

# Awara News

## あわらニュース vol.70

平成29年12月1日発行

### 「多くの人の笑顔のために」

- 重症心身障がい、難病、長寿医療を柱とし、地域に密着した専門医療を提供します。
- 社会的なアプローチを組み入れ、患者中心の心あたたまる医療を実施します。
- 臨床研究、教育研修、安全管理をとおして、常により質の高い医療を追求します。
- 公益性を確保し、効率的で自立した病院経営を推進します。



### 在宅医療における多職種連携セミナー

老年科長 梁田 敦

「地域医療で栄養障害を打破しよう!」をテーマに「第3回在宅医療における多職種連携セミナー」が、2017年10月24日に当院で開催されました。福井大学医学部地域医療推進講座の主催で、地域医療にかかる様々な職種の方々、計63名が参加されました。

開催に当たり、まず福井大学医学部地域医療推進講座の山村修先生から、高齢者の栄養リスク指標として最近注目されている「GNRI」についてご説明をいただきました。続いて当院副院長見附より、あわら病院における心不全の患者さんを対象としたGNRIの評価および今後の可能性について、さらに当院NST内川管理栄養士から、病院と施設でGNRIの変動を追跡した症例の報告が行われました。

その後、「坂井地区が抱える栄養連携の問題点は何か?」をテーマにグループワークを行い、「病棟」「施設」「在宅」のそれぞれの視点から見た栄養連携の問題点について、多職種スタッフを交えた小チームで話し合って問題解決の糸口を探りました。各職種から違う観点での意見が出され、それを各グループから全体に共有して、終始有意義な時間を持つことができました。

## 認識と解釈



診療部長  
川満 徹

ついこの前まで当たり前に行われていた事や、特に咎め立てされる事も無かった様な行為が、新たな認識の光を当てる事でがらりと異なる解釈を生み出すという事が時にあります。

障がい者の虐待の問題についても、これと似た様な事が起きています。

虐待という言葉から誰もが連想する事は、妥当な理由の無い肉体への暴力行為であったり、無視や言葉の暴力などで相手を精神的な窮地に追い込む行為などが挙げられるかと思います。勿論これらは昔も今も、虐待に該当する行為として認識されてきました。ところが、以前は虐待などという風には全く思われていなかった行為が、最近ではそう捉えられる様になるものが出でてきたのです。

例えば、その典型的な例を挙げると、障がいを持った人たちの中で成人の年齢に達している相手に、「○○君」や「△△ちゃん」という呼び方で声を掛けるの

も、虐待もしくは権利侵害の行為の一つと解釈される場合があります。つまり成人に達している相手に対して、そういう呼び方をするのはその人の尊厳を傷つけ兼ねないからというのが理由になっています。

他にも、車椅子のベルト装着やベッド柵の使用方法などの様に、本人の安全面を考慮しての行為ですら、本人や家族の了承無く勝手に行うと、虐待やそれに類する行為と取られる可能性があります。

この様に、時代と共に、色々な事がその認識や解釈を変える事で、多くの人に影響を及ぼす様になります。その中には、妥当性が疑わしく思えるものも含まれていておりしますが、ただその一方で、今まで当たり前の様に行ってきた自分の行為が、実は誰かを傷つけてしまっていたというその可能性について、自分自身を振り返る良い機会を私たちに与えてくれますし、尚且つ相手の尊厳や健康を保つ事に寄与するのも又事実だと言えます。

当院でも、この障がい者虐待防止の問題について、これまで以上に真摯に取り組んでいきたいと考えています。



## 増えている高齢者的心不全、「拡張不全」について

副院長 見附 保彦

心不全とは、心臓のポンプとしての機能が低下して全身臓器が必要とする血液が十分に供給できない状態のことを指しています。その原因として心筋梗塞、心筋症、および弁膜症等心臓の機能を低下させる病気が知られています。従来、心不全の大多数は左心室の収縮機能低下により、全身に十分な血液を送り出すことができない「収縮不全」と捉えられていました。しかし、最近の研究からは、高齢者では心不全の症状があるにもかかわらず、左室の収縮機能は正常に保たれた「拡張不全」というタイプの心不全が多いことが分かってきました。「拡張不全」は、特に高齢者、女性、基礎疾患として高血圧・糖尿病・心臓の病気などを持っている人に多いという特徴がありますが、通常の検査

では見つかりにくいことがあります。放置したままであると重症化してしまう危険性もあります。「拡張不全」であるか否かは、心臓超音波検査や血液検査の脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)測定などによって診断が可能です。できるだけ初期段階に気づけば、多くの場合、まずは内服治療(血管を広げ、心臓の血流を改善させる硝酸薬、尿の排泄を促進する利尿薬、ACE阻害薬やARBなどのレニン・アンジオテンシン系阻害薬)で症状を緩和改善することが可能です。心不全では、さまざまな症状が現れますので、わずかな症状も見逃さず、早めに医療機関を受診しましょう。





# 地域医療連携施設のご紹介

あわら病院と連携している医療機関等をご紹介します

## 野村医院



当院は、えちぜん鉄道 大関駅より徒歩10分ほどの田園地帯にあります。

午前中と午後4時から6時30分まで外来診療、高齢化社会になり、通院困難な患者さんが増えてまいりましたので、午後2時から4時までは往診、特定健診また小規模事業所の健診には産業医としてのアドバイスも行っています。

在宅医療の著しい発展により、かなり身体障がいのある患者さん、がん末期の患者さんにも訪問看護師を中心とした多職種連携で取り組めるようになりました。あわら病院には、在宅医療を受けている患者さんの急変時、また介護者の介護疲れに対するレスパイト入院希望にも対応していただいており、感謝しております。今後ともよろしくお願いします。

### 野村医院 院長 野村 健一

〒919-0547 福井県坂井市坂井町大味8-5

TEL(0776)72-1839 診療科目:内科、消化器内科、外科、肛門科

診療時間	月	火	水	木	金	土	備考
午前(8:00~12:00)	診療	○	○	○	○	○	休診日
午後(14:00~16:00)	往診	○	○	○	-	○	日曜日
午後(16:00~18:30)	診療	○	○	○	-	○	祝祭日

## 商工フェスタに参加して

庶務班長 澤井 篤治

10月14日(土)にあわら市商工会主催の商工フェスタに「健康チェック」と「ちびっこ白衣体験」で参加させていただきました。健康チェックでは身長・体重、血圧、体脂肪、骨密度などの測定や管理栄養士による栄養相談を実施しました。やはり、生活習慣病が気になる方も多いようで、肥満度や血圧、また骨密度などの測定が気軽にできることで、皆さん喜んでいらっしゃいました。ちびっこ白衣体験コーナーでは、ご兄弟で仲良く記念撮影される方など、小さなお医者さんや看護師さんはとてもかわいく、微笑ましいひと時となりました。当日は

曇り空で途中に雨がぱらつくお天気でしたが、健康チェックとちびっこ白衣体験に多くの方が来てくださいました。来年も、多くの方に来ていただけるようにしていきたいと思ってます。

あわら病院は、これからも地域の皆さまの健康を応援します。



## 外来担当医表

(平成29年12月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
総合	内科	津谷 寛	鈴木 友輔	大槻 希美	見附 保彦	宮崎 晋介
	小児科	大坂 陽子*	川満 徹*	大坂 陽子*	湯浅 光織*	川満 徹*
	リウマチ			津谷 寛	津谷 寛	
	血液・腫瘍			浦崎 芳正*	大槻 希美(第2・4)	
	痛風				津谷 寛*	
	生活習慣病			鈴木 友輔(第1・3)		
	老年			桐場 千代(第2・4・5)		棄田 敦
	神経			林 浩嗣(第1・3・5)		
	循環器	見附 保彦	見附 保彦			
	外科	齊藤 貢	齊藤 貢	齊藤 貢	齊藤 貢	齊藤 貢
専門	整形外科	奥 規博				
	眼科				吉岡 達也*	
	皮膚科		若原 真美			若原 真美
	地域ケア	鈴木 友輔				
	禁煙外来	見附 保彦	見附 保彦			

●受付時間8:30～11:30 ●黄色枠は予約制 ●\*印は午後診察 ●休診日／土・日・祝日・年末年始

※皮膚科の診察は、火曜日・金曜日の午前中(9:00～11:00)です。

※神経内科の診察は、第1・3・5水曜日(8:30～11:30)です。

※禁煙外来の診察は、月曜日(8:30～11:30)・火曜日(10:00～12:30)です。

## 感染管理便り

感染防止対策室 棄田由香利

寒い日が続き、インフルエンザにかかる方も増えてきているようです。これからの時期インフルエンザの予防にうがい、手洗い、咳エチケットなどを実施されると思いますが、「咳エチケット」の具体的な内容は御存じですか?①咳やくしゃみを他の人に向けて発しない。②咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをする。とっさの咳やくしゃみの際にマスクのない場合はティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い、顔を他の人に向けない。③鼻水・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗う。マスクを着用するだけでなく、手洗いやティッシュなどのゴミの捨て方も咳エチケットに含まれます。こまめな手洗い、十分な栄養と休息、適度な湿度の保持に加え、確実な咳エチケットの実施で、元気に冬を過ごしていきましょう。




## 独立行政法人 国立病院機構 あわら病院

福井県あわら市北潟238-1 TEL.0776-79-1211(代表) FAX.0776-79-1249  
(地域医療連携室) TEL.0776-79-1212内線(785) FAX.0776-79-1261  
URL <http://www.awara-hosp.jp/>

【診療科】内科、小児科、外科、皮膚科、血液・腫瘍内科、リウマチ科、神経内科  
老年内科、循環器科、整形外科、眼科、リハビリテーション科

【病床数】172床

【教育】日本内科学会認定教育関連施設、日本血液学会、日本リウマチ学会認定施設

## 交通のご案内

## えちぜん鉄道「あわら湯のまち」駅より(5km)

- ①京福バス(北潟花菖蒲園行き、あわら病院前下車)
- ②乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]

## JR北陸本線芦原温泉駅より(10km)

- ①京福バス(あわら湯の町駅で乗換)
- ②乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]

※出発時間は、受付に備え付けの時刻表、またはホームページ(交通案内)をご覧ください。